

♪大きく 元気に 素直に育て♪



東っ子

いわき市立小名浜東小学校だより
平成30年度 第8号
平成30年11月26日
発行者：校長 鈴木 廣美

「学びの構え」をつくる立腰(りつよう)



11月から、朝の時間に、腰骨を立てて背筋をまっすぐに伸ばし、ゆっくりと呼吸しながら気持ちを落ち着かせる「立腰」に取り組んでいます。これは、県内の様々な学校で実践されている学習への集中力を高め、落ち着いた心の状態をつくるための一つの方法です。朝、起床から登校後の慌ただしい気持ちのまま授業に向かうのではなく、姿勢を正し、心静かに呼吸を整え、気持ちをリセットすることで、やる気を引き出したり、学習に向かう気持ちを整えたりする

ために行います。朝の3分間、全校で一斉に取り組むことで、学校全体が静かになります。

この頃、廊下を走ったり、頭を打ったりするけがが少なくなってきました。一日の学びの構えをつくる立腰で、子ども達が落ち着いた生活を送り、授業にますます集中することを期待しています。

実力伯仲！子ども会対抗綱引き大会

11月10日(土)、子ども会対抗綱引き大会が行われました。運動会の綱引きとは違って同時に引き始めるので、力の入れ方やタイミング、そして体の角度がとても大事になります。子どもたちの一生懸命さに応援にも力が入りました。ヘルメットをかぶったアンカーマンの子ども達が、頼もしく見えました。

【上学年：4～6年生の部】

優勝(こめのA) 準優勝(岡小名B)

【下学年：1～3年生の部】

優勝(諏訪町A) 準優勝(湘南台) でした。



共に生きる社会を目指して～手話教室

11月15日、4年生が手話を体験しました。講師は加藤康正さんと手話通訳者の山岸文恵さんです。子ども達は、手話の簡単な挨拶や単語を教えていただきました。また、耳が不自由な人に話かける時のマナー(正面から、口元をはっきり見せて、ゆっくり話し、わからないときにはメモや身振りで伝える)等も知りました。障がいの有無にかかわらず、皆が共に生きる社会をつくる基盤となる学習でした。

小名浜方部11小学校の作品を鑑賞～方部造形書写巡回展



(↑書写の作品を鑑賞する3年生)

芸術の秋にふさわしく、今年も10月31日～11月2日の3日間にわたり、小名浜方部造形書写巡回展がありました。

ちょうど「ふくしま教育週間」中だったこともあり、2日の「ヒガリンピック」を参観に来校された方で、廊下いっぱい展示された絵画と書写の作品をご覧になった方もおられたことでしょう。子ども達にとっても、他校の作品を見るのは良い経験です。他人の表現のよさに気づくことができるということは、自分の表現にそのよさを生かすことができるからです。

先生方は、時間を見つけて子どもたちに作品を鑑賞させ、よさに気づかせていました。

あなたの磨き方は大丈夫？～学校歯科医さんの歯磨き指導

11月21日、学校歯科医の杉本歯科医院の杉本院長さんと歯科衛生士さんが来校し、4年生に歯磨き指導をしてくださいました。

はじめに、歯のはたらきと断面図からわかる歯の仕組みについて説明があり、次に大きな歯の模型を使って、正しい歯の磨き方を教えていただきました。

子どもたちは、一人一人が手鏡をもって、自分の口の中を点検しながらお話を聞きました。もうすぐ冬休みです。休み中も、毎日の歯磨きを忘れずに、歯の健康を守ってほしいですね。



自己ベスト目指して！持久走記録会



11月の最終週は、持久走記録会週間です。各学年だよりでお知らせしてある通り、実施する日は、学年によって違います。

記録会に向けて、子どもたちは自分のめあてを決め、朝の始業前に校庭を走って体を鍛えてきました。

記録も大事ですが、まずは完走が目標です。体調に十分気を付けたうえで、自己ベストを目指して頑張ってください。

(↑ある日の朝の練習の様子です。下学年はトラックの内側を、上学年は外側を走っています。)